

吉原・バッキングガムのレポート 1998年2月

会員の方のご了解をいただき、吉原・バッキングガムのレポートを掲載します。吉原の3万～4万クラスのお店の情報があまりなかったので貴重なレポートだと思います。高級店ばかりじゃつらいよね。レポートは「ちゃ太郎」さんです。

■ご予約&入店

16:00頃の予約のTELを入れる。インターネット情報を見たことを告げ、3万を払う。5, 6分程待つと4人泡姫の写真を見せられる。特に指名を考えて無かったので、それぞれの特徴を聞いてみる。4人の内2人はXXX、「まあどーせなら〇〇の方がいいや」と考える。さらに「サービスが抜群」とお店の人が押す「A姫」に決定。A姫は28, 9歳(だと思う)で、T160のBWHが86, 60, 85(だったと思う)誰似かは、判らない(芸能人を余り知らないの)が個人的にまあまあの娘。んで、しばらく待つのかと思いきや、5分もたたん内にお呼ばれする。2階のお部屋に案内される。

■お部屋

部屋の広さは8畳から10畳ぐらいで結構広い。目立ったのはバスルームが広い事でしょうか。で、早速に息子を可愛がって頂く。んで情熱的なDキスから始まって、徐々に69の体勢に。そして姫が上になっての騎上位でバーンバーン。XXだと感じやすいのか余りもたずに昇天。(1Rは負けた....)

■ちょっと休憩

ここでハーフタイム(休憩ね)丁度オリンピックの時期だったので時事ネタで盛り上がる。でもなんだか話が逸れて某アライ議員の自殺ネタに話が行く。更に宇宙旅行の話になる。他愛のない世間話だが、面白い。コミュニケーションは重要だと悟る。この間姫はお風呂の準備中。身体を洗うのは、普通に洗っただけなので特に書く事は無し。湯船に移って潜望鏡をするが何か気分が盛り上がらなかった。(Why?)

■マット

マットは海やプールで使う浮きマットの3, 4倍位の広さでローションでヌルヌルとダンス。うーん気持ち良いなあ。でもここでは不発に終わり、シャワーでローションを落として湯船に入り、また世間話をする。ベッドに移って2回戦目。今度はおいらが攻め手になるDキスから乳首へと攻めるが、時間の関係で途中で省略し正上位で合体。バンバンバンと攻め続ける。姫の喘ぎと身体を抱きしめる力が強くなる度に気分が盛り上がるが、どこか気分が覚めてしまってるせいか中々発射できない。遂に不発で合体が解けてしまう。それでも姫は快く笑ってテコキ(まだ立っている)で出してくれた。終わって姫曰く、「折角だから出して上げなくちゃ」

■お帰り

姫と別れた後、待合室(来た時のとは別室)でアンケートを書かされる。が送りの車が来るというのでなんか急かされる。(この間10分弱)

■感想

姫の選択の時あまり好みの姫がいなかったので、ちと残念。終わった後にもう少しゆっくり余韻に浸る時間が欲しかったな。でもA姫は情熱的で良かった。

■反省

今回は気力の充実を欠いていた事が悔やまれる。 次回の目標は「もっと気力も充実させてから来よう」

■ロビンの感想

吉原のこのクラスのお店の情報って意外とないですね。 あっても、特定のお店に集中しているようだし。 全体の印象としては、このクラスのお店でもきちんとしたサービスが受けられるし、姫のレベルについても高級店とそんなに変わらないケースが多いように思います。最近、高級店からの移籍組が増えているようですし。